

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ運営支援事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	西村 幸
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進					所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10825	法令根拠	スポーツ振興法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱		成果優先度評価結果	⑫
										コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	平成15年4月「クラブにしごうし」は、総合型地域スポーツクラブとして自主運営、地域における公益を目的と地域に開かれたスポーツクラブとして設立された。・平成12年には、県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つの総合型地域スポーツクラブを作ることが目標に掲げられた。総合型地域スポーツクラブ「クラブにしごうし」は設立から10年が経過。平成23年度会員数約370名と当初に比べここ数年減少傾向にあり、事業の見直しや財政面の強化など、問題点も出てきている。・平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルF UNクラブ」が設立した。平成20年10月1日に正式にオープンし、より良い総合型地域スポーツクラブを目指して、住民主体で活動している。会員数は約438名。
（開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む）	
【業務の流れ】	総合型地域スポーツクラブへの補助金申請、交付業務、事務局としての受付・会議等での業務補助、施設の確保。
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	・会員からはクラブに入れば幾つもの種目が体験でき、異世代間の交流ができる。親子でスポーツできる。・自分のペースでスポーツができる。・弁天プールを安く使える。・指導者からは、自分の能力を試せる場となっているという意見。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・総合型地域スポーツクラブへの補助金申請、交付業務、事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設)を半額免除で提供。		・総合型地域スポーツクラブへの補助金申請、交付業務 事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額免除で提供する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 補助金額	円		
イ 施設使用料減免額	円		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
総合型地域スポーツクラブ		→ ア クラブ数	
		イ 団体	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、事故なく活動ができる。		→ ア 事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合	
		イ %	
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠			
総合型地域スポーツクラブが問題なく運営されているか示すために設定した。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア	円	1,345,720	996,000	997,000	997,000	997,000	997,000	997,000	
	イ	円	445,500	518,700	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	
② 対象指標	ア	団体	2	2	2	2	2	2	2	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投 入 費 用 量	事業費	国庫支出金	千円							(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,579	1,305	1,362	1,311	1,362	1,362	
	人件費	(A) 事業費計	千円	1,579	1,305	1,362	1,311	1,362	1,362	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特数	千円	0	0	0	0	0	0	
		正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間		時間	29	45	45	23	45	45	0
	(B)人件費計		千円	116	179	179	94	185	185	
			千円	1,695	1,484	1,541	1,405	1,547	1,547	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業計画に則り、事故なく事業を行う予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 事業計画に則り、事故なく事業を展開できている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 「クラブにしごうし」と「ヴィーブルFUNクラブ」の2つのスポーツクラブがあるが、「ヴィーブルFUNクラブ」が設立されてまだ3年余りであり、また会費等の問題もあり、現在は統合できない。（将来的には統合を促す必要がある）
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 会員数の減により、現在予算の見直しや会員数の増加を図るための協議を行っており、事業費の削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務局は総合型地域スポーツクラブの嘱託職員であり、正職員もできるだけ事務局員にまかせるようにしている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 予算の見直しや会費の値上げについては協議を行っている。会費の値上げについては、事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 移行は難しい。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

「ヴィーブルFUNクラブ」は、着実に会員を増やし発展しているが、「クラブにしごうし」は、会員数が減少しており、収入源・指導者謝金・指導者の確保等様々な問題を抱えている。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 「クラブにしごうし」については、会員数の増加及び会費の検討を行い、予算規模の安定化を図っていく必要がある。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 会費の値上げ、会員数の増加を図っていく。（現在、運営委員会で協議を重ねている）																								